



2月 園だより



リユース・リデュース・リサイクル

園長 立石 晃子

ラニーニャ現象が発生した影響で、今年は寒い冬になるとの予想どおり、連日厳しい寒さが続いています。加えて新型コロナウイルスの急激な感染拡大で、今まで以上に緊張を強いられる日々が続いています。どうぞ一日も早くこの事態が収束することを願うばかりです。3学期からは、「おはよう親子マラソン」も内容をウォーキングに変え、保護者の方の応援をいただきながら進めています。一日のスタートに、子供たちも保護者の方も笑顔でウォーキングを行う様子が見られ、心も体も温くなり、ほっとする時間になっています。

1月22日(土)、あらかわりサイクルセンターのご協力を得て、ごみやリサイクルについて学ぶ機会をつくりました。当初夏季保育で、親子で実施する予定でしたが、今回は延期し、園児のみの参加で行わせていただきました。リサイクルセンターの方からは、ごみを減らすことにつながる、「食べ物を残さず食べよう」という内容を、スライドを交えながらお話いただきました。子供たちからは、「残さないで食べようと思いました」「野菜がちょっと苦手だけど頑張って食べようと思いました」という感想がきかれました。また、「どうしてリサイクルできるの?」といった質問もあがりました。センターの方は「溶かすともう一度つくることのできるんだよ」と缶を例えに教えていただきました。スチール缶とアルミ缶を提示し、磁石につくものとつかないものがある、こうして分けてリサイクルする、という説明を聞き実際に磁石につく缶とつかない缶を見て子供たちは驚いていました。私は、缶詰の缶にもスチール製とアルミ製があることを初めて知りました。また、スケルトンのごみ収集車に来ていただき、ごみがどんどん車に押し込まれ、たくさん積まれたごみを排出するという、一連の車の仕組みを見学させていただきました。

東京オリンピック・パラリンピック教育のプロジェクトの1つに「スクールアクション『もったいない大作戦』～東京3Rプロジェクト～」があります。東京2020大会を控え、各学校は環境に関する「Reduce:ごみを減らすこと。出さないように工夫する取組」「Reuse:使い終わったものをもう一度、使う取組」「Recycle:もう一度、資源として再生して使う取組」の3Rの行動目標を設定し活動を進める内容で、本園もこの取組を行ってきました。南千住には学びを得られる施設がたくさんあります。今回は地域の施設を最大限に生かした機会となりました。この機会をとおして、地域の施設の理解促進とともに、少しでも自分の生活を環境に優しいものにしていこうという気持ちをもてたらと思います。また今後、あらかわりサイクルセンターに実際に伺う機会をもちたいと考えています。

楽しいこといっぱい！子どもたちの園生活

< 3 歳もも組 >

歌って踊ってセリフを言って。みんなでつくった劇遊び楽しいね！

友達や教師との再会を喜びながら、お正月遊びを満喫しました。色塗りをした自分だけのコマを繰り返し遊んで長く回せるようになった子、畳の上でカルタや絵合わせで友達と競い合う子、お手玉を投げてキャッチを何度も練習する子。風揚げでは、笑顔で校庭を何度も往復していました。それぞれのお気に入りのお正月遊びを見付けて楽しんだ子供たちでした。

表現遊びでは、好きな動物のお面に表情を付けて動物に変身！！ピアノの音が聞こえると自然と動物になりきって動きだします。「この子が一緒に居たいって言っている」と好きな遊びの間も被ったり持ち歩いたりする姿があり、親しみを感じている様子が伝わってきました。繰り返し遊んでいく中で、お面や背景を作ったりお店を用意してみたりと劇らしさが出ていきました。2月は豆まきや遠足などの園行事があります。併せて、「森のけいとやさん」の劇を引き続きして遊んだり楽器で表現遊びをしたりして、みんなで取り組んで遊ぶことを楽しんでいきます。

< 4 歳たんぼ組 >

みんなと一緒に頑張れるね！楽しいね！

寒い日が続いておりますが、朝から行われる親子マラソンで心も体もポカポカの子供たちです。身支度を整え終えると「先に並んでいるね！」と、張り切っている姿も見られます。先頭を早歩きで歩いている年長児を見て「ばら組さん速い！すごいね！もう見えなくなったよ！」と驚いている子供たちでした。たんぼ組のペースで行っていますが、年長児に追いつこうと頑張っています。

2月はいよいよ劇遊びの会があります。一人ひとりがのびのびと表現する楽しさを味わったり、友達と一緒に取り組み、やり遂げた満足感を味わったりすることができるようになっています。一人ではドキドキしてしまう子も「友達と一緒に」だからこそ頑張れるのです。劇遊びの会后には、年長児から係の仕事の引継ぎも始まります。いよいよ進級へ少しずつ気持ちが向かっていけるように関わっていきます。

< 5 歳ばら組 >

認め合い、尊重し合い、助け合い、喜び合える最高のクラスへ！

気温が低く、頬を赤らめながら登園している子供たちですが、おはよう親子マラソンでは、保護者の方の付き添いや見守りのおかげで、園の周りを楽しんで歩きながら体がポカポカと温まる心地よさを繰り返し味わっています！また、好きな遊びでは、園庭で長縄や羽子板に挑戦する子や、おうちで取り組んだコマやあやとりの技を友達に披露したりコツを丁寧に教えたりする子がいたり、自分なりにめあてをもって取り組む様子や、友達にできたことや頑張ったことを認められた喜びや「教えて？」と頼りにされる嬉しさから、「もっと難しい技に挑戦しよう」「もっと分かりやすい伝え方はないかな？」と自分なりに奮闘する姿も見られるようになってきました。

2月は、共通の目的に向かって個々がさらに力を発揮する中で、良さを認め合い、尊重し合い、助け合い、喜び合いながら、自分たちの力だけで遊びや活動を進める充実感や成し遂げることができた達成感や感動が味わえるよう、気持ちを支え、環境を整えながら援助していきます。